

授業科目	授業番号： 310		担当者	岡村 俊彦			
	産業心理学		授業外対応	講義前後に適宜対応			
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修／選択]			
	指定なし	前期	2 単位	選択			
【テーマ】産業に関わる心理学を多角的に学ぶ  【概要】産業におけるヒューマンファクター（人的要因）を多角的に考える。前半は主に労働者の心理的側面を対象とするが、人間の基本的な特性もとらえることで、コンピュータを始め、システムの評価など多方面への応用も可能となる。後半は消費者の心理を対象とし、購買行動に関する様々な要因を考えていく。簡単な心理実験、心理テストなども織り交ぜていく予定である  【到達目標】商品、システム、労働環境を人間の快適性から評価し、改善を考えることができるようになる。また、購買行動に関わる心理を売り手、買い手の両面から考えることができるようになる		【授業形態】 講義方式					
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリントを配布、Web でも公開 (2) なし						
授業スケジュール	第 1回 概要説明 第 2回 人間とシステムの関わり合い、精神作業：ヒューマンインターフェイスの概念と精神作業の種類と性質 記憶と学習：記憶と学習のメカニズムと産業への応用 第 3回 記憶と学習：記憶と学習のメカニズムと産業への応用 第 4回 ヒューマンインターフェイス1：ヒューマンインターフェイスの基本原則 第 5回 ヒューマンインターフェイス2：ヒューマンインターフェイスの事例紹介 第 6回 職場のストレス：仕事におけるストレスのメカニズムと対策 第 7回 仕事の成功と動機付け：成功、失敗の心理的要因と仕事に対するモチベーションの種類 第 8回 人間関係、労働時間：職場における人間関係。労働時間と仕事の関係 第 9回 ユニバーサルデザイン：UD の理論と実践例 第 10回 広告の心理学：広告が視聴者にあたえる影響とメカニズム 第 11回 購買心理：消費者の購買心理 第 12回 販売、印象管理：セールステクニックと印章管理 第 13回 ヒューマンのエラー：人間のエラーのメカニズムと対策 第 14回 こころをはかる生理心理学：生理的現象の測定による心理状況の推察 第 15回 まとめ						
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示						
成績評価の方法	通常のレポート2回分が 80%，授業ごとのリアクションペーパーが 20%						
実務経験について	なし						